



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2017 **4**



3月1日(水)、兵庫県農業共済会館にて「ひょうご消費者セミナー2016」を開催、113人が集いました。「スマホ・ケータイに使われていませんか?～情報という名の落とし穴～」と題して、NIT 情報技術推進ネットワーク(株) 篠原 嘉一氏が講演。また、適格消費者団体の活動報告も行われ、消費者被害に遭わないためのポイントを具体的な事例とともに学びました。(関連ページP.3)



神戸大学生協同組合
専務理事

坂本 安弘

(さかもと・やすひろ)

神戸大学生協は 還暦を迎えます!!

神戸大学生協は今年の12月22日で設立60年を迎えます。人に例えるなら60歳、還暦です。

昭和32年の設立当初はほんとうに小さなスペースでの文具の供給活動からスタートしたそうです。

60年が経ち、食堂・購買・書籍の基本的な供給活動から、共済保険の取り扱いや旅行・資格学校の受付、さらに近年では就職活動の支援も力を入れています。

より良いキャンパスライフを組合員に提供することだけを精一杯一途に探求してきたと感じます。

一昨年に現職を就任し、最近になって私で8代目であることがわかりました。実は十何代目かと思っていたので意外でした。

近年、大学生協を取り巻く環境は非常に厳しくなっています。生協が厳しいと言ふことは大学自体も厳しい状況になつていふことが容易に推測できます。

2018年問題(18歳人口の激減)や国からの予算削減、そして厳しい評価(国からの評価と社会的な評価)。

大学も民間企業なみの経営手腕が問われる時代となり、昔のように最高学府の名誉だけでは生き残れないのかあと痛感します。

「これまで生協が行なっていた活動や事業を大学が直接行う」「生協以外

のお店や食堂を誘致する」等々、キャンパスライフの充実を真摯に考え、受験生の増加や在校生の満足度アップを意識するようになりました。

以前でしたらこれは「生協にお任せ」だったのですが。

私達大学生協も手を拱いているだけではありません。生協の強みを活かし、柔軟な変化をもつて対応しています。生協の強みとは？もちろん組合員の「加入」「参加」「利用」です。

生協は組合員に寄り添うことでニーズを聞き取り、実現できるように努力します。実現への過程では組合員にも参加頂き、一歩一歩目的に向かって歩んで行く土壌が長い歴史の中で育まれています。

おそらくこの60年の間、一度も立ち止まることなく常に前を向いて進んできた諸先輩方の努力の賜物ではないでしょうか。

私も諸先輩に恥じないように、そして今後も神戸大学生協が組合員に寄り添える組織であり続けるように頑張ります。

4月は新入生を迎える季節です。あらたな組合員との出会いにわくわくしながら、より良いキャンパスライフの実現を目指し尽力します。

CONTENTS

2. 想点
3. 「ひょうご消費者セミナー2016」報告／「第15回 税務・経理講習会」報告
4. 『兵協連だより』通信員・広報担当者研修 報告／2017年度『兵協連だより』通信員紹介
5. 熊本地震 震災支援の取り組み 報告 生活協同組合コープこうべ／

- 近畿労働金庫兵庫地区統括本部／「第3回 東日本被災地支援活動」報告
6. 協同組合のかけ橋
7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓
8. 「消費者・事業者・行政によるワークショップ」報告／2017年度行事予定(主要行事)／県連日誌／編集後記

スマホ・ケータイに使われていませんか？～情報という名の落とし穴～

「ひょうご消費者セミナー2016」開催

3月1日(水)、兵庫県農業共済会館にて、消費者支援機構関西(KC's)、ひょうご消費者ネット、生活協同組合コープこうべ、兵庫県生協連の4者共催「ひょうご消費者セミナー2016」を開催しました。

このセミナーは、「適格消費者団体」や「消費者団体訴訟制度」についての理解を深めるとともに、幅広い世代の消費者が「差止訴訟」などを学ぶもので、113人が参加しました。

冒頭、主催4団体を代表し、兵庫県生活協同組合連合会 野間 誠 専務理事が挨拶。

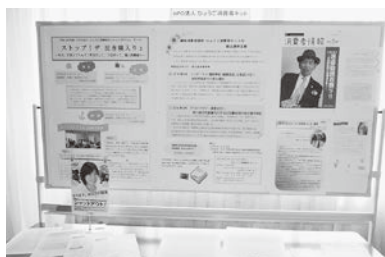
続いて、篠原 嘉一氏が「スマホ・ケータイに使われていませんか？～情報という名の落とし穴」と題して、メールとSNSの違いや、スマートフォンを操作しながら、アプリの様々なリスクや機能について、また、小・中学・高校での実践教育では、スマホを“持たせて我慢する経験をさせること”の大切さについてお話いただきました。

その後、NPO法人ひょうご消費者ネット 専務理事 鈴木 尉久氏が「健康食品販売会社のお試し？実は定期購入の改善の取り組み」について、またNPO法人消費者支援機構関西(KC's)



講演される 篠原嘉一氏

袋井 邦昭氏が「健康食品事業者に対する差止請求」について、それぞれ取り組みを報告し、次年度の第10回につながるセミナーとなりました。



展示コーナー(左:コープこうべ・右:ひょうご消費者ネット)

2016年度「兵庫県生協連・第15回税務・経理講習会」を開催

3月2日(木)・3日(金)、兵庫県民会館にて、税理士 江藤俊哉氏、MMコンサルティング 三宅充氏、西宮市職員生協 統括部長 宮田正樹氏を講師に迎えて「第15回税務・経理講習会」を開催、4会員生協(3関連会社)の役員職員10人が参加しました。

最初の全体講習では、江藤氏より「2016年度税制改正」について、わかりやすく講義いただきました。続いて、三宅氏より「経理担当者の心得」と題して、経理の重要性についてお話いただきました。そして1日目の午後と2日目は、5人が「基礎コース」、2人が「申告書作成コース」に分かれて受講。基礎コースでは、「税務・経理・財務管理の基本」を中心に身近な設例に基づく税務申告書の書き方など税務の基礎を学びました。また、申告書作成コースでは、税務・経理全般についての知識を学び、法人税申告書作成に取り組みました。参加者からは「税制改正について背景と変更のポイントを項目別に簡潔にお話いただき、良く理解できました」「経理担当者の重要性を改めて認識できました」「税務の基本的な考え方をわかりやすく教えていただき理解できました」などの感想が寄せられ、実践に役立つ講習会となりました。



基礎コース



申告書作成コース

2016年度「兵協連だより」通信員・広報担当者研修

3月10日(金)、株式会社甲南堂印刷 御影スタジオにて「兵協連だより」通信員・広報担当者研修を開催。7生協1団体から14人が参加しました。この研修会は、「兵協連だより」通信員ならびに会員生協の広報担当者の広報活動などに役立てていただくため毎年企画しています。

今回は、株式会社甲南堂印刷 フォトグラファー 八尾 剛至 氏を講師に「現場で学ぶ！デジタルカメラを使いこなすコツ」をテーマに開催。写真を撮る時のポイントを中心に撮影前の準備や撮影時のマナーについてお話しいただきました。

参加者からは「実際の撮影スタジオで裏話もお聞きし興味深い研修でした」「使い方も勿論とても参考になったのですが、準備や心構え、マナーについて本当に勉強になりました」「カメラの機能をいろいろ教えていただき次回の撮影で使いたいと思います」などの感想が寄せられました。事前準備の大切さや使える写真の撮り方など実践に役立つ研修となりました。



講師 八尾 剛至 氏



講座終了後、撮影スタジオを見学しました

● 2017年度「兵協連だより」通信員紹介 ●

2017年度の「兵協連だより」の通信員のみなさまです。今年度もよろしくお願いします。

購買生協	
生活協同組合コープこうべ	榊原 晶子さん
佐曾利消費生活協同組合	中村 梓さん
生活クラブ生活協同組合都市生活	山本 晋也さん
生活協同組合コープ自然派兵庫	時枝 文麻さん
生活協同組合連合会コープ自然派事業連合	西本 亮さん
西宮市職員生活協同組合	宮田 正樹さん
尼崎信用金庫職員生活協同組合	柏原 正宏さん
大学生協	
神戸大学生生活協同組合	坂本 安弘さん
関西学院大学生生活協同組合	池上 正寿さん
神戸市外国語大学消費生活協同組合	衛藤 昭二さん
甲南大学生生活協同組合	中谷 満子さん
兵庫県立大学生生活協同組合	藤井 貴浩さん
神戸薬科大学生活協同組合	大西 範和さん
神戸親和女子大学生生活協同組合	木村 祐一さん
大手前大学生生活協同組合	生田 正和さん
園田学園女子大学生生活協同組合	大須賀 修さん
甲南女子大学生生活協同組合	塩田 恵美さん
神戸市立工業高等専門学校生活協同組合	久保田尚稔さん
大学生協関西西北陸事業連合	藤江 正俊さん

医療生協	
神戸医療生活協同組合	中西 一真さん
尼崎医療生活協同組合	岸本 貴士さん
阪神医療生活協同組合	小城 直樹さん
宝塚医療生活協同組合	前田 秀輔さん
姫路医療生活協同組合	岡田 佐織さん
ろっこう医療生活協同組合	古市 賢二さん
たじま医療生活協同組合	春木 圭介さん
ひまわり医療生活協同組合	酒井 成美さん
共済生協	
神戸市民生活協同組合	鹿田 裕子さん
尼崎市民共済生活協同組合	中畑 貴喜さん
姫路市民共済生活協同組合	山本 悠人さん
西宮市民共済生活協同組合	白井 浩さん
兵庫労働共済生活協同組合	中川 純一さん
生協以外の会員	
近畿労働金庫兵庫地区統括本部	井奥眞貴子さん

*変更・継続のご報告をいただけない生協につきましては、2016年度通信員を継続掲載しております。ご変更の場合は、お手数ですが兵庫県生協連までご連絡をお願いいたします。

～被災地を支える取り組み～

熊本地震から1年。兵庫県生協連の会員生協をはじめ全国の生協の仲間が支援活動に取り組んでいます。

生活協同組合コープこうべ

小麦粉を使って熊本を応援！

神戸市立六甲アイランド高校の名前にちなんだ「六♥^{アイ}シナモンロール」。

高校3年生のグループが昨年夏、熊本県の支援に少しでも役に立てたいと、熊本県産小麦「ミナミノカオリ」を使用したパンを考案。全校生徒へアンケートなどを行い、オリジナルのシナモンロール（プレーン・チョコレート）を完成させました。校内の食堂で200個販売したところ15分で完売。

もっと多くの人に食べてもらうことで熊本を支援したいという思いにコープこうべが賛同して、食品工場で職人が焼き上げ、シーアの店頭で期間限定販売しました。販売の応援をした生徒からは「熊本を支援したいという気持ちがこういった形で実って嬉しい」と話していました。

このシナモンロールは組合員にも好評で、1週間で2,800個を売り上げました。（通信員 榊原 晶子）



近畿労働金庫兵庫地区統括本部

被災地支援の体験・教訓に学ぶ関西での備え

1月23日(月)近畿ろうきん肥後橋ビルにて熊本地震シンポジウムを開催し、近畿2府4県よりNPO・生協・行政・研究者・学生など約60名が集いました。

第1部では、熊本地震被災地の「高齢者・コミュニティ」「障がい者」「こども」支援の各団体より3名のゲストをお招きし、パネルディスカッション形式で、被災時に支援の手が届き難いテーマの活動に取組まれている貴重な経験と教訓を報告いただきました。第2部では、昨年9月に取組んだ熊本被災地支援訪問ツアーの参加者よりミニ発題をいただき、関西での大規模災害に「支援団体が備えておくべきこと」についてグループディスカッションで認識を深めました。

全体を通し、「住民主体の復興活動とボランティア支援のコーディネート大切さ」「普段からのネットワークづくりが災害時の支援のスピードと質を高めるのに役に立つ」等、多くの気づきと学びを得た集いでした。

（通信員 井奥 眞貴子）



グループディスカッションに取り組む皆さん



パネルディスカッションのパネラーは被災地で支援活動に取り組む3名の皆さん。近畿ろうきん地域共生推進室 浦田室長がコーディネーター。

～兵協連 第3回「東日本被災地支援活動」報告～

東日本大震災6年“七回忌の被災地”在りし日にそっと

～ 再生へ 心 ひとつに ～

兵庫県生協連では、「一般社団法人ING」の支援活動に合流する形で2013年度から宮城県亶理郡山元町への支援活動を継続的に行っています。これまでに10回、延べ41人が参加しています。12月に続き、3月10日(金)～12日(日)山元町花釜地区での支援活動に、コープこうべ 三好宏明さんと小池薫さん、兵庫県生協連 事務局 野間の3人が参加しました。

“2万2000人近くの方が犠牲となった東日本大震災は3月11日、発災から6年がたちました。津波や東京電力福島第1原発事故で住む場所を失い、今も12万人以上の方々が仮設住宅や親族宅などで避難生活を送られています。”今回、神戸医療生協、宝塚医療生協、コープこうべ、きづがわ医療生協、生協総研の計11人で訪問し、みやぎ県南医療生協、山元町、女川町の皆様と交流を深めました。3月11日(土)は、福島県富岡町（富岡駅跡地、夜ノ森桜通り）、浪江町～宮城県山元町（坂元駅・山下駅、中浜小学校跡地）～花釜慰霊碑除幕式～追悼の夜（竹灯籠）への参加。花釜地区交流センターでの区長、支部長、組合員さんとの交流会を行いました。3月12日(日)は、名取市閑上地区～女川町（女川原発の見える港、医療センター、駅周辺）を視察しました。山元町花釜センターの交流会では、区長、組合員さんの「兵庫、神戸の皆さんのご支援で、頑張り、生き続けることが出来ました」「この6年間で、7年・8年もの長さを感じる苦悩（葛藤）の日々であった」「ボランティアの皆さんに甘えるだけでなく、地域住民の一人ひとりが自らの意思で、この花釜地区を良くしたい、高齢社会になっても、明るく住みやすい、未来につながる地域づくりに挑み続けたい」との言葉が心に残りました。兵庫県生協連では、引き続き東日本被災地支援活動をすすめてまいります。会員生協皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



花釜地区 “追悼の夜”



福島県富岡町 無人の桜通りで支援者のみなさん

JA 淡路地区漁協青壮年部連合会

淡路高校で出前授業 ～高校生に島内漁業について語る～

淡路地区漁協青壮年部連合会（山崎 大輔会長）は、昨年度より洲本市農業青年会議（土屋 淳会長）と淡路島の一次産業のPRを図るため様々な取り組みを行っています。その一環として、島内の高校との連携を図るため、山崎会長らが兵庫県立淡路高校に出張授業を提案し、2月20日(月)の「農業経営」の授業で“花と緑と海のめぐみコース”の2年生23名に対し、島内の農業と漁業の現状について講演しました。

冒頭、山崎会長は「今日の授業を通じて少しでも漁業に関心を持ってもらえたら」と話され、授業では淡路島内の漁協と主な漁業、漁法のほか、漁師になるにはどうすればよいのか、漁業権についてを説明し、最後に、「卒業後の進路に一人でも漁業や水産関係を思い浮かべてくれれば嬉しい」と締めくくりました。

また、土屋会長からは「どのようにしたら就農できるのか」と題し、淡路島に移住した自らの経験を紹介され、「地元の方々との繋がりも大切。自ら情報を得る努力をしてほしい」と話されました。

続く座談会では、生徒ら一人ずつに淡路島産のミカンとイチゴが配られ、一次産業の現状について意見を交わしました。また、色落ちしたノリと色のあるノリを手にとりて食べ比べも行い、山崎会長や漁青連の部員らからの、栄養塩の減少が漁業に与える影響に関する話に生徒たちは耳を傾けていました。



高校生と意見を交わす
山崎会長（左）と
土屋会長（右）

JA 兵庫中央会

畠 一希(JA兵庫六甲)が 最優秀(県知事賞)を受賞 JA営農指導員研修大会

JA兵庫中央会は2月17日、平成28年度JA営農指導員研修大会を県農業会館で開催し、JA営農指導員および関係者ら約90人が参加しました。

この研修大会は、JA営農指導員が日頃の活動実績を発表し、相互研鑽を図ることを目的に開催。8JAから発表が行われ、「黒大豆枝豆ができる三田の農業を守る3つのこと」と題して発表したJA兵庫六甲の畠一希さんが最優秀の県知事賞を受賞しました。

畠さんは、「1枚のチラシで経営の全てを」をコンセプトに黒大豆枝豆のJA出荷のメリット・販売実績・栽培方法をまとめたチラシを作成。提案活動を行い、栽培面積が6.3㍍、栽培者が49人それぞれ増加するとともにJAシェア率を向上させた成果を発表しました。審査委員長の兵庫県立農林水産技術総合センター企画調整・経営支援部の茶谷達人部長は「組合員の農業所得の向上と販売力強化など農協改革で求められている課題に注力されている」と講評しました。

他の発表者は次の通り。JA兵庫西・井上靖子さん（中央会会長賞）、JA兵庫南・沼田峻太さん（全農兵庫運営委員会会長賞）、JAみのり・藤本昌宏さん、JA兵庫みらい・永田健さん、JAたじま・植田雅重さん、JA丹波ささやま・山崎久敬さん、JA淡路日の出・東田和久さん



活動実績発表の発表者と審査員



最近の消費生活相談事例

カセットこんろからのガス漏れ ～ボンベ取り付け時に音やニオイで確認を～

事例

鍋料理のため、食卓にカセットこんろを置き、点火したところ、カセットこんろの横から大きな炎が上がったので、あわてて消火した。ボンベを取り付けた際、ガスが漏れたようなにおいがしていた。(50代・男性)

【アドバイス】

「カセットこんろ」に関する相談の中には、点火した際にカセットこんろから突然大きな炎が上がるといった事例があり、中には消火の際にやけどを負う、炎で食卓が焦げるといった被害が発生したものもあります。

今回のカセットこんろは約18年前に製造されたものでした。こんろの横から大きな炎が上がったのは、ボンベの取付部からガス漏れしていたことが原因と考えられます。ボンベ取付部にあるゴムのリングが経年劣化で硬くなり、ボンベとの接合部にすき間が生じたことでガスが漏れ、点火時の火花等が漏れたガスに引火し、炎が上がったと考えられます。

製造から10年以上経過しているものであれば、ゴムのリングが経年劣化で硬くなっている可能性があり、ボンベを取り付けた際にガスが漏れることがありますので注意が必要です。カセットこんろの製造時期は、こんろの本体にシールなどで表示されています。

そのほかの注意点としては、①指定されているボンベを使う。②カセットこんろにボンベを取り付ける際は、カセットこんろの取付部にある突起（凸部）と、ボンベ側の「切りかき」（凹部）を合わせる位置で取り付ける。③点火前にガスが漏れているような音やガスのおいがないかを確認する。④使用後は、カセットこんろからボンベを取り外して保管する——などです。

カセットこんろだけでなく、ボンベの内部にもゴムでできた部品があり、同じく10年程度で硬くなるようです。ボンベの底などに製造時期が印字されていますので、製造から10年を経過したものは使用を控えてください。
(兵庫県生活科学総合センター ☎078・303・0999)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江です。

4月、長かった冬の寒さもどこへやら。いつのまにか暖かくなり、心なしか、まちを歩く人の表情も朗らかな感じがするのです。

さて、今回は「騙された」ということについてお話したいと思います。先日も「騙されました」という人の相談を聞きました。「何に騙されたのですか?」と尋ねても、「恥ずかしいから…」となかなか、詳細を打ち明けてくれません。騙された自分が悪い、バカだったと思うので恥ずかしいのでしょう。

ですが、「騙される」ということは交通事故のようなものだと、私は思っています。騙そうとする人は、落ち着いて考えることをさせないのです。あとになって、初めて冷静に考える余裕が生まれて、被害に遭ってしまったことに気が付くのです。人は毎日24時間、元気で冷静な判断ができるわけではありません。疲れていたり、気持ちが沈んでしまっていたり、焦っている時だってあります。そんな時を狙われるのです。だから、誰でも「騙される」可能性があるのです。

もし、「騙された」と思うことがあったら、決して自分がバカだったからと思わず、相談してみてくださいね。解決の糸口が見つかるかもしれません。
(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

消費者・事業者・行政によるワークショップ ～ともに実践する消費者市民社会～

2月19日(日)、兵庫県民会館で兵庫県・ひょうご消費者三者会議・大学生協関西西北陸事業連合主催で「消費者(大学生等)・事業者・行政によるワークショップ ～ともに実践する消費者市民社会～」を開催しました。事業者、行政関係、大学生42名、高校生14名を含めて126名が参加しました。消費者啓発活動を顕著に実践したと認められる大学生に「くらしのヤングクリエイター活動認定証」が交付(第5回)され、2016年度の新たな「くらしの安全・安心推進員」の紹介も実施しました。又、消費者関係専門家会議(ACAP)から大学生協関西西北陸事業連合が「消費者志向活動章」を受賞したことも報告されました。その後、消費者・事業者・行政のそれぞれの立場からの活動報告を行い、消費者市民社会を広めるために、三者がそれぞれの役割を考え、グループに分かれてワークショップを行いました。それぞれのアイデアに参加者が投票し、上位のチーム

は全体発表を行いました。これまでの「くらしのヤングクリエイター活動認定証」の交付は、のべ130名を超えました。今後も、「くらしのヤングクリエイター」が中心となり、このワークショップで生まれたアイデアを1つでも実現し、兵庫県の消費者行政の理念でもある「消費者、事業者、行政の信頼と協働により、安全で安心なくらしを実現する」消費者市民社会をめざしていきます。



ワークショップ風景



「くらしのヤングクリエイター活動認定証」交付式

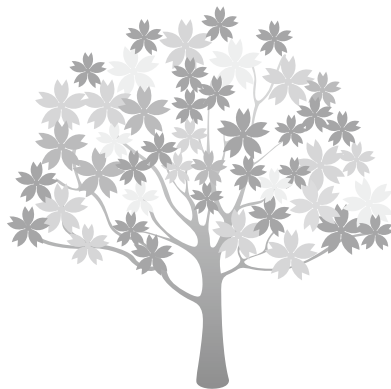
◆ 2017年度行事予定(主要行事) ◆

*変更になる場合があります。

開催日		兵協連 主要行事/研修
4月	4/3(月)	兵協連 第6回理事会/第1回役員推薦委員会
5月	5/18(木)	兵協連 第2回役員推薦委員会
	5/23(火)	兵協連 監事会(期末監査)
6月	6/5(月)	兵協連 第7回理事会/第3回役員推薦委員会
	6/26(月)	兵協連 第67回通常総会・第1回理事会
7月	7/6(木)	第95回国際協同組合デー・兵庫県記念大会
	8/7(月)	兵協連 第2回理事会
8月	8/19(土)	兵協連 ピースアクション2017 広島被爆ピアノ平和コンサート
	10/2(月)	兵協連 第3回理事会
10月	10/5(木)	2017年度 兵庫県生協大会
	11/16~22の間の5日間	兵協連 第13回初級経理学校
12月	12/4(月)	兵協連 第4回理事会
2018年1月	1/6(土)	新春トップセミナー・賀詞交換会
2月	2/5(月)	兵協連 第5回理事会
	2/20(火)・21(水)	兵協連 第16回税務・経理講習会

編集後記

「ひょうご消費者セミナー」(P.3.参照)を3月1日(休)に開催しました。講師の篠原さんからは、スマートフォン・最新ネット事情についてお話しいただき、トラブルに遭わないためのLINE設定方法や、SNSを利用する際の注意点などを自分のスマホを操作しながら学びました。怖い話の連続でしたが、軽妙な語り口とウィット効いたトークに引き込まれ、あっという間の2時間でした。
数日前からスマホに「ソフトウェアアップデートを開始してください」と出ているのですが、いろんな話を聞いた後というところもあり、実行していいものか画面とにらめっこしています。こんなことがスツと理解できる頭になりたいと思う毎日です。(大戸)



県連日誌

4月3日(月) 兵協連 第6回理事会・第1回役員推薦委員会 (県民会館 1201)
4月6日(木) 兵協連 大学生協部会 (新大阪)